連結業績ハイライト

2017年3月期第2四半期(2016年4月1日～9月30日)

売上高

2,563.5億円

営業利益

59.8億円

01 前年同期比で減収減益となるものの、主力のモバイル事業は堅調に推移 ハード面とソフト面での戦略投資を積極的に行い、通期目標達成を目指す

モバイル事業：市場環境の変化を背景に、過度な販売競争が沈静化し端末の実質販売が上昇したことから、携帯電話等の総販売台数は減少しましたが、お客様のスマートライフ充実に向けて光回線やタブレット、スマートフォン関連商材等の販売における付加価値提案力を高め、収益性向上を図りました。

ソリューション事業：固定回線系商材において、フレッツが卸売りモデルに移行しビジネスモデルが転換期を迎えたため、従来型光回線サービスの販売が減少しセグメント利益が大幅減となりましたが、将来の成長に向けての人員体制強化やシステム投資を推進しました。

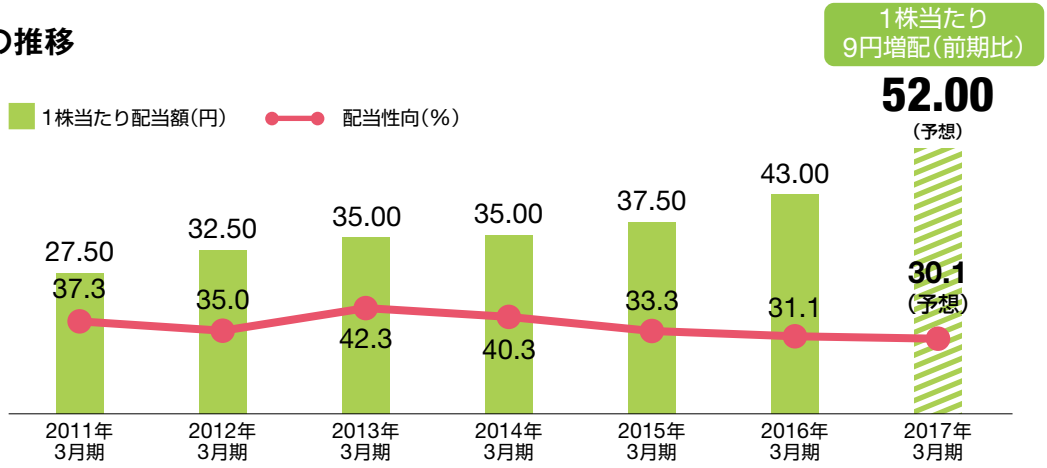
決済サービス事業他：商品構成の変化に伴い減収となったものの、ギフトカード販売は好調で、実質的な販売総額である取扱高は前年同期比で増加しました。

下期も引き続き各セグメントにおいて、ハード面(ショップの出店・拡充)とソフト面(人財・システム)での戦略的投資を推進し、収益性向上と通期目標達成を目指してまいります。

02 中間配当は期初予想通り1株当たり26円を実施、通期では前期比9円増配の52円を予定

2017年3月期の年間配当は前期比9円増配の1株当たり52円を予想し、3期連続の増配を予定しております。
また、2016年4月には128億円規模の自己株式取得を実施しており、2017年3月期における資本効率の向上を見込んでおります。

■ 配当の推移



※上記の数値につきましては、過去に実施いたしました株式分割を勘案した数値を掲載しております。